

「豊かな感性」と「思考力の芽生え」の育成は学ぶ楽しさを生みます

豊かな感性

幼児期の子どもは瑞々しい感性でさまざまなモノ・ヒト・コトと出会います。興味しんしんでそれらにかかわります。「わあ、きれい!」「不思議?」「なんで?」心を躍らせる瞬間です。そのときは大人も一緒に「本当だ!きれいなね」「うーん、不思議だねえ」と共感しましょう。幼稚園ではわくわくしたその気持ちを友達や先生と分かち合うことで仲間としてのつながりも生まれてきます。いたわり、愛着、思いやり、感動ときには葛藤の心が育まれます。豊かな感性はよりよく生きる力の原動力となっていきます。

思考力の芽生え



感じる心で興味や関心をもったことにとびついた子どもたちはやがて「どうなっているのだろう?」「こんなふうにするとうなるのかな?」試したり、工夫したりして自分なりに満足するまでかかわり始めます。しかし、幼児期の特性としてすぐに飽きてしまったり、忘れてしまったりします。そこで先生は粘り強くものごとにかかわれるよう励ましたり、褒めたり、友達同士で認め合う場を作りながら、気づいたこと、考えたことが流れてしまわないよう心地よい体験の中で「力」として定着させていきます。「考えることが楽しい」「友達と一緒にだともっと楽しい」このプロセスを大切にしています。



家庭的な幼稚園だからこそ「一人一人を大切にした保育」「一人一人の成長に合わせた指導と援助」「一人一人の頑張りや成長が見える行事」が実現できています。いつでも、何でもお気軽にご相談ください。子育てを一緒に考えていきましょう。